

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年12月13日 (2012.12.13)

【公開番号】特開2011-92479(P2011-92479A)

【公開日】平成23年5月12日 (2011.5.12)

【年通号数】公開・登録公報2011-019

【出願番号】特願2009-249972(P2009-249972)

【国際特許分類】

A 4 6 B 3/06 (2006.01)

B 2 4 D 13/14 (2006.01)

【F I】

A 4 6 B 3/06

B 2 4 D 13/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月29日 (2012.10.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被加工面の研削、研磨、表面処理、洗浄、バリ取り等の各種加工をする為のバリ取りブラシにおいて、前記バリ取りブラシは、複数本のブラシ片を束ねたブラシ部と、底部が閉塞された筒状の基台とを有し、前記ブラシ片が前記基台の内側面を押圧する為の凸部が前記基台の内底面又は内側面に形成されてあると共に、前記ブラシ部は、接着剤を介して前記基台に固定されてあることを特徴とするバリ取りブラシ。

【請求項 2】

凸部は、表面がテーパ状に形成されてあることを特徴とする請求項 1 に記載のバリ取りブラシ。

【請求項 3】

凸部は、基台の底部に配置されたねじであることを特徴とする請求項 1 に記載のバリ取りブラシ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

上記従来課題を解決する為に、請求項 1 の発明は、被加工面の研削、研磨、表面処理、洗浄、バリ取り等の各種加工をする為のバリ取りブラシにおいて、前記バリ取りブラシは、複数本のブラシ片を束ねたブラシ部と、底部が閉塞された筒状の基台とを有し、前記ブラシ片が前記基台の内側面を押圧する為の凸部が前記基台の内底面又は内側面に形成されてあると共に、前記ブラシ部は、接着剤を介して前記基台に固定されてあることを特徴としている。したがって、接着剤が塗付された基台にブラシ部の一端を押し込むことによって、ブラシ部の端部は基台の凸部で分けられて内側面側に押し付けられるため、ブラシ部の基台内におけるブラシ片間の押圧力が増加し、ブラシ片の基台にたいする引っ張り強度が増す。さらに、内側面側に押し付けられる事でブラシ片間の隙間が少なくなり、ブラ

シ片の端部に接着剤が万遍無く付着するので、さらに引っ張り強度が増し、ブラシ片の抜け止めを確実にこなうことができる。また、凸部が基台の内底面の略中央部に形成されている場合には、凸部と基台の内側面との距離が略均一になる為、ブラシ部はブラシ片を基台の内側面の全周に亘って略均一に押し付けることができ、加工時の衝撃、振動等にたいして、より耐久性の高いブラシ片の抜け止めを確実にこなうことができる。